

様式第2号の1-②【(1)実務経験のある教員等による授業科目の配置】

※専門学校は、この様式を用いること。大学・短期大学・高等専門学校は、様式第2号の1-①を用いること。

学校名	尚美ミュージックカレッジ専門学校
設置者名	学校法人 尚美学園

1. 「実務経験のある教員等による授業科目」の数

課程名	学科名	夜間・通信制の場合	実務経験のある教員等による授業科目の単位数又は授業時数	省令で定める基準単位数又は授業時数	配置困難
音楽専門課程 (2年制)	管弦打楽器学科 (1・2年生)	夜・通信	8単位 (180時間)	7単位 (160時間)	
	ジャズ・ポピュラー学科 (1・2年生)	夜・通信	7単位 (180時間)	7単位 (160時間)	
	ヴォーカル学科 (1・2年生)	夜・通信	7単位 (180時間)	7単位 (160時間)	
	プロミュージシャン学科 (1・2年生)	夜・通信	7単位 (180時間)	7単位 (160時間)	
	アレンジ・作曲学科 (1・2年生)	夜・通信	7単位 (180時間)	7単位 (160時間)	
	ミュージカル学科 (2年生のみ)	夜・通信	(180時間)	(160時間)	
	ダンス学科 (2年生のみ)	夜・通信	(180時間)	(160時間)	
	声優学科 (2年生のみ)	夜・通信	(180時間)	(160時間)	
	パフォーミングアーツ学科 (1年生のみ)	夜・通信	7単位	7単位	
	音響・映像・照明学科 (2年生のみ)	夜・通信	(180時間)	(160時間)	
	ミュージックビジネス学科 (2年生のみ)	夜・通信	(180時間)	(160時間)	

音楽専門 課程 (2年制)	エンタテインメントスタッフ学科 (1年生のみ)	夜・ 通信	7 単位	7 単位	
	エンタテインメントHR 学科 (1年生のみ)	夜・ 通信	7 単位	7 単位	
音楽専門 課程 (4年制)	音楽総合アカデミー学科 ヴォーカルコース (1～4年生)	夜・ 通信	13 単位 (330 時間)	13 単位 (320 時間)	
	音楽総合アカデミー学科 ピアノコース (1～4年生)	夜・ 通信	13 単位 (330 時間)	13 単位 (320 時間)	
	音楽総合アカデミー学科 電子オルガンコース (1～4年生)	夜・ 通信	13 単位 (330 時間)	13 単位 (320 時間)	
	音楽総合アカデミー学科 管弦打楽器コース (1～4年生)	夜・ 通信	13 単位 (330 時間)	13 単位 (320 時間)	
	音楽総合アカデミー学科 ジャズ・ポピュラーコース (1～4年生)	夜・ 通信	13 単位 (330 時間)	13 単位 (320 時間)	
	音楽総合アカデミー学科 アレンジ・作曲コース (1～4年生)	夜・ 通信	13 単位 (330 時間)	13 単位 (320 時間)	
(備考) () 内の数字 (○時間) は、2025 年度以前の入学者を対象とする授業科目について、学校教育法施行規則等の附則第 2 条 (経過措置) に基づき、実務経験のある教員等による授業科目の単位数について用いる授業時数を記載している。					

2. 「実務経験のある教員等による授業科目」の一覧表の公表方法

「カリキュラム (授業科目一覧)」は、学校公式ウェブサイトにて公表、「実務経験のある教員等による授業科目」は、カリキュラム表内の○印で明示している。各担当講師の実務経歴は、「シラバス」内「担当科目に関連する実務経歴」に記載している。学校公式ウェブサイトの URL は、「カリキュラム (授業科目一覧)」、「シラバス」とも <https://www.shobi.ac.jp/about/info/> である。

3. 要件を満たすことが困難である学科

学科名
(困難である理由)

様式第2号の2-①【(2)-①学外者である理事の複数配置】

※ 国立大学法人・独立行政法人国立高等専門学校機構・公立大学法人・学校法人・準学校法人は、この様式を用いること。これら以外の設置者は、様式第2号の2-②を用いること。

学校名	尚美ミュージックカレッジ専門学校
設置者名	学校法人 尚美学園

1. 理事（役員）名簿の公表方法

学校法人尚美学園公式ウェブサイトに役員名簿を公表している。
<https://www.shobigakuen.ac.jp/info.html>
(役員等名簿 > 役員名簿)

2. 学外者である理事の一覧表

常勤・非常勤の別	前職又は現職	任期	担当する職務内容 や期待する役割
非常勤	会社役員	令和7年5月28日～ 選任後4年以内に終了する 会計年度のうち最終の ものに関する定時評議員 会の終結の時まで	学校運営担当
非常勤	大学教授	令和7年5月28日～ 選任後4年以内に終了する 会計年度のうち最終の ものに関する定時評議員 会の終結の時まで	学校運営担当
(備考)			

様式第2号の2-②【(2)-②外部の意見を反映することができる組織への外部人材の複数配置】

※ 様式第2号の2-①に掲げる法人以外の設置者（公益財団法人、公益社団法人、医療法人、社会福祉法人、独立行政法人、個人等）は、この様式を用いること。

学校名	
設置者名	

1. 大学等の教育について外部人材の意見を反映することができる組織

名称	
役割	

2. 外部人材である構成員の一覧表

前職又は現職	任期	備考（学校と関連する経歴等）
(備考)		

様式第2号の3 【(3)厳格かつ適正な成績管理の実施及び公表】

学校名	尚美ミュージックカレッジ専門学校
設置者名	学校法人 尚美学園

○厳格かつ適正な成績管理の実施及び公表の概要

1. 授業科目について、授業の方法及び内容、到達目標、成績評価の方法や基準その他の事項を記載した授業計画書(シラバス)を作成し、公表していること。	
(授業計画書の作成・公表に係る取組の概要)	
<p>【作成について】 すべての授業科目について、学科別の成績会議を年間2回の Semester 末に実施し、授業内容、指導内容、試験、成績について確認を行っている。また、毎年度10月に学生による授業評価を実施し、その結果を授業担当者にフィードバックし、授業内容の改善、教育効果の向上を図っている。</p> <p>毎年度1月に翌年度の授業科目についての担当依頼を行っており、担当依頼と同時に学内統一書式によるシラバス作成を併せて依頼している。シラバスには科目名、担当者名、授業形態、科目概要、毎回の授業計画、期末試験内容、評価の方法、担当科目に関連する実務経歴などを記載することとしている。</p>	
<p>【公開時期について】 毎年度2月中旬に各担当者から提出されたシラバスについて、各学科・部門、学務担当教員、学校長によるチェックを行ったうえで、新年度開始時(新年度オリエンテーション)までに学校公式ウェブサイト上に公開されているよう作業を行っている。</p>	
授業計画書の公表方法	掲載： https://www.shobi.ac.jp/about/info/ 「シラバス」
2. 学修意欲の把握、試験やレポート、卒業論文などの適切な方法により、学修成果を厳格かつ適正に評価して単位を与え、又は、履修を認定していること。	
(授業科目の学修成果の評価に係る取組の概要)	
<p>「学務規定」を学校公式ウェブサイト情報公開ページの「学則・規程」内に掲載し、試験、成績評価、履修、進級・卒業要件について明示している。</p> <p>また、教職員および学生全員に毎年度配付している「学生要綱」に「期末試験と成績・評価」「公認追試験・追試験・再試験」「履修認定と進級・卒業」などの細目の解説を掲載し具体的に説明している。この内容も学校公式ウェブサイト情報公開ページの「授業・履修について」(学生要綱抜粋)内で公開している。</p> <p>情報公開ページの URL は、 https://www.shobi.ac.jp/about/info/ である。</p>	
<p>(参考) 冊子「学生要綱 2026」 6頁「期末試験と成績・評価」記載内容 各クォーター末には、科目毎に小テストや試験などにより学習成果の確認が行われ、これらの結果、出席状況、平常点などを総合して、Semester 毎に成績が算出され、評価が行われます。なお、評価を受けるには Semester を基準に3分の2以上の出席をしていること、その学期までの学費を納入していることが必要です。</p>	

<p>3. 成績評価において、GPA等の客観的な指標を設定し、公表するとともに、成績の分布状況の把握をはじめ、適切に実施していること。</p> <p>(客観的な指標の設定・公表及び成績評価の適切な実施に係る取組の概要)</p> <p>成績評価については学生要綱「期末試験と成績・評価」に以下のとおり記載・公表している。併せて、学校公式ウェブサイト情報公開ページの「授業・履修について」(学生要綱抜粋)内で公開している。</p> <p>(参考) 冊子「学生要綱 2026」 6 頁「期末試験と成績・評価」記載事項 セメスター毎の成績(評点)は100点満点で算出され、評点に対応した5段階の評価が行われ ます。 評点と評価は以下のように対応し、D評価は不合格となります。 SA=90点以上、A=80~89点、B=70~79点、C=60~69点、D=59点以下 成績の通知はセメスター毎に行われ、担任から成績表が配付されます。</p> <p>なお、本学では音楽・エンタテインメントという分野の特性上、授業成績の順位などを個々の学生には伝えていないが、各科目の担当教員は期末試験報告時に得点分布を報告し、担任、学科は成績管理システム(Campus Plan)から出力された情報により、学生指導や奨学生の採否の根拠となる学科クラス内の成績分布や個々の学生のGPA・成績順位を把握している。</p>	
<p>客観的な指標の 算出方法の公表方法</p>	<p>掲載：学生要綱 2026 6 頁「期末試験と成績・評価」 掲載：https://www.shobi.ac.jp/about/info/ 「授業・履修について」(学生要綱抜粋)</p>
<p>4. 卒業の認定に関する方針を定め、公表するとともに、適切に実施していること。</p> <p>(卒業の認定方針の策定・公表・適切な実施に係る取組の概要)</p> <p>本学の卒業認定に関わる基本方針は、「智と愛」という建学の精神、人材育成像、具体的な教育方針とともに、入学時に配付する学科毎の在学の手引きである「STUDENT HANDBOOK」に記載され、さらに卒業および進級の認定の詳細については、全学共通に配付される学生要綱に明記し公表している。</p> <p>(参考) 冊子「学生要綱 2026」 7 頁「履修認定と進級・卒業」 SA、A、B、Cの評価を得た科目は、履修が認定されます。必修科目、選択必修科目のうち履修を必要とする数の科目に合格することで、次学年への進級、あるいは卒業が認定されます。</p> <p>必修科目の未履修があると、卒業が認定されません。(中略) また、進級には所定の科目の3分の2以上の履修が必要です。これに満たない場合は(中略)留年となり、全科目を再度履修しなければなりません。</p>	
<p>卒業の認定に関する 方針の公表方法</p>	<p>掲載：学生要綱 2026 7 頁「履修認定と進級・卒業」 掲載：https://www.shobi.ac.jp/about/info/ 「授業・履修について」(学生要綱抜粋)</p>

様式第2号の4-②【(4)財務・経営情報の公表（専門学校）】

※専門学校は、この様式を用いること。大学・短期大学・高等専門学校は、様式第2号の4-①を用いること。

学校名	尚美ミュージックカレッジ専門学校
設置者名	学校法人 尚美学園

1. 財務諸表等

財務諸表等	公表方法
貸借対照表	毎年6月に最新情報をWEBサイトに公表している。 http://www.shobigakuen.ac.jp/info.html
収支計算書又は損益計算書	同上
財産目録	同上
事業報告書	同上
監事による監査報告（書）	同上

2. 教育活動に係る情報

①学科等の情報

分野		課程名	学科名	専門士	高度専門士		
文化・教養		音楽専門課程	管弦打楽器学科	○			
修業 年限	昼夜	全課程の修了に必要な総 単位数	開設している授業の種類				
			講義	演習	実習	実験	実技
2年	昼	1年生：64単位 2年生：1,710単位時間	[1年] 12単位 [2年] 210単位 時間	[1年] 40単位 (管弦打楽器専攻(管 打楽器)) 48単位 (管弦打楽器専攻(弦 楽器)) 56単位 (吹奏楽・マーチング指 導者専攻) [2年] 3,480 単位時間	[1年] 6単位 [2年] 510単位 時間		[1年] 12単位 [2年] 120単位 時間
			1年管弦打楽器専攻(管打楽器) 70単位 1年管弦打楽器専攻(弦楽器) 78単位 1年吹奏楽・マーチング専攻 86単位 2年 4,320単位時間				
生徒総定員数		生徒実員	うち留学生数	専任教員数	兼任教員数	総教員数	
80人		71人	1人	4人	51人	55人	
(備考) (任意記載事項) 2025年度以前の入学者については、学校教育法施行規則等の附則第2条(経過措置)に基づき、単位時間数を記載している。 専任教員4名は、音楽総合アカデミー学科と兼ねている。 2026年5月1日現在の全学科教員総数は専任33名、兼任273名である。							

カリキュラム（授業方法及び内容、年間の授業計画）
（概要） 様式第2号の3【(3)厳格かつ適正な成績管理の実施及び公表】の1.を参照
成績評価の基準・方法
（概要） 様式第2号の3【(3)厳格かつ適正な成績管理の実施及び公表】の3.を参照
卒業・進級の認定基準
（概要） 様式第2号の3【(3)厳格かつ適正な成績管理の実施及び公表】の4.を参照
学修支援等
（概要） 半期全授業15回のうち、7回目に中間試験、15回目に期末試験、この他、中間試験、期末試験後に実技に関する試験を設定し、内容の理解、修得状況について評価を行い、学生にフィードバックを行っている。年間2回の定期担任面談の他、随時、授業・レッスン担当者や担任、学科長による相談を受け付け、キャリアセンター（就業支援）、国際交流センター（留学生対応）、学務・学生支援部演奏担当（学内外での音楽活動）、学校カウンセラー（匿名相談も可能な学生相談）などで学修全般にわたるサポートを行っている。

卒業生数、進学者数、就職者数（直近の年度の状況を記載）			
卒業生数	進学者数	就職者数 （自営業を含む。）	その他
21人 (100%)	14人 (66.7%)	3人 (14.3%)	4人 (19.0%)
（主な就職、業界等） 演奏家、公務員音楽隊、楽団員、指導者（吹奏楽、マーチング、音楽教室、教員）、作曲家、音楽・エンタテインメント関連企業等			
（就職指導内容） 就職講座、キャリアカウンセリング、応募書類作成指導、面接練習、メールによる希望分野の求人情報配信、進路/就職ガイダンス、学内企業説明会等			
（主な学修成果（資格・検定等）） 日本マーチングバンド協会マーチングバンド指導者ライセンス2級・3級、一般社団法人日本管打・吹奏楽学会吹奏楽検定3級、他			
（備考）（任意記載事項）			

中途退学の現状		
年度当初在学者数	年度の途中における退学者の数	中退率
66人	4人	6.1%

(中途退学の主な理由) 進路変更 (3) 心身の問題 (1)
(中退防止・中退者支援のための取組) 中途退学に繋がる勉強意欲喪失の最初の表れが授業欠席であり、出欠状況を含む学修状況はクラス担任が確認、把握している。クラス担任による年2回の個別学生面談のほか、毎週のクラスタイムやクラス授業等で修学上の不安や悩みごとの相談を受けている。学生の状況により、特に心身に問題を抱える場合は、随時家族保証人とも連絡をとりあい情報共有している。学資の問題については教務課が窓口となり、学費分納や各種奨学金等の相談を受けている。学科や専攻の変更についても、出来る限り本人の希望に沿う方向で柔軟に対応している。退学希望の学生に対しても、退学後の状況についてクラス担任が十分な聞き取りを行い、必要なアドバイスを提供している。退学を希望する理由によっては、復学も選択肢にあることを説明している。

分野		課程名	学科名	専門士	高度専門士		
文化・教養		音楽専門課程	ジャズ・ポピュラー 学科	○			
修業 年限	昼夜	全課程の修了に必要な総 単位数	開設している授業の種類				
			講義	演習	実習	実験	実技
2年	昼	1年生：63単位 2年生：1,710単位時間	[1年] 4単位 [2年] 210単位 時間	[1年] 51単位 [2年] 1,560 単位時間	[1年] 2単位 [2年] 90単位 時間		[1年] 12単位 [2年] 120単位 時間
			1年 69単位 2年 1,980単位時間				
生徒総定員数		生徒実員	うち留学生数	専任教員数	兼任教員数	総教員数	
60人		48人	9人	2人	29人	31人	
(備考) (任意記載事項) 「全課程の修了に必要な総単位数」および「開設している授業の種類」について、2025年度以前の入学者分は、学校教育法施行規則等の附則第2条(経過措置)に基づき、単位時間数を記載している。 専任教員2名のうち、1名が音楽総合アカデミー学科と兼ねている。 2026年5月1日現在の全学科教員総数は専任33名、兼任273名である。							

カリキュラム (授業方法及び内容、年間の授業計画)
(概要) 様式第2号の3【(3)厳格かつ適正な成績管理の実施及び公表】の1.を参照
成績評価の基準・方法
(概要) 様式第2号の3【(3)厳格かつ適正な成績管理の実施及び公表】の3.を参照
卒業・進級の認定基準
(概要) 様式第2号の3【(3)厳格かつ適正な成績管理の実施及び公表】の4.を参照

学修支援等
(概要) 半期全授業 15 回のうち、7 回目に中間試験、15 回目に期末試験、この他、中間試験、期末試験後に実技に関する試験を設定し、内容の理解、修得状況について評価を行い、学生にフィードバックを行っている。年間 2 回の定期担任面談の他、随時、授業・レッスン担当者や担任、学科長による相談を受け付け、キャリアセンター（就業支援）、国際交流センター（留学生対応）、学務・学生支援部演奏担当（学内外での音楽活動）、学校カウンセラー（匿名相談も可能な学生相談）などで学修全般にわたるサポートを行っている。

卒業生数、進学者数、就職者数（直近の年度の状況を記載）			
卒業生数	進学者数	就職者数 (自営業を含む。)	その他
16 人 (100%)	1 人 (6.3%)	3 人 (18.8%)	12 人 (75.0%)
(主な就職、業界等) プレイヤー（事務所所属、フリーランス）、テーマパーク、講師（楽器店、音楽教室、フリー）、音楽・エンタテインメント関連企業、音楽系ショップ等			
(就職指導内容) 学内開催オーディション（企業招聘）、就職講座、キャリアカウンセリング、応募書類作成指導、面接練習、メールによる希望分野の求人情報配信、進路/就職ガイダンス等			
(主な学修成果（資格・検定等）) 各種オーディション合格、学外演奏活動、他			
(備考)（任意記載事項）			

中途退学の現状		
年度当初在学者数	年度の途中における退学者の数	中退率
48 人	6 人	12.5 %
(中途退学の主な理由) 勉学意欲喪失 (3) 進路変更 (1) 心身の問題 (1) 未手続除籍 (1)		
(中退防止・中退者支援のための取組) 中途退学に繋がる勉学意欲喪失の最初の表れが授業欠席であり、出欠状況を含む学修状況はクラス担任が確認、把握している。クラス担任による年 2 回の個別学生面談のほか、毎週のクラスタイムやクラス授業等で修学上の不安や悩みごとの相談を受けている。学生の状況により、特に心身に問題を抱える場合は、随時家族保証人とも連絡をとりあい情報共有している。学資の問題については教務課が窓口となり、学費分納や各種奨学金等の相談を受けている。学科や専攻の変更についても、出来る限り本人の希望に沿う方向で柔軟に対応している。退学希望の学生に対しても、退学後の状況についてクラス担任が十分な聞き取りを行い、必要なアドバイスを提供している。退学を希望する理由によっては、復学も選択肢にあることを説明している。		

分野		課程名	学科名	専門士	高度専門士		
文化・教養		音楽専門課程	ヴォーカル学科	○			
修業 年限	昼夜	全課程の修了に必要な総 単位数	開設している授業の種類				
			講義	演習	実習	実験	実技
2年	昼	1年生：62単位 2年生：1,710単位時間	[1年] 4単位 [2年] 90単位 時間	[1年] 58単位 [2年] 1,710 単位時間	[1年] 10単位 [2年] 240単位 時間		[1年] 12単位 [2年] 120単位 時間
			1年 84単位 2年 2,160単位時間				
生徒総定員数		生徒実員	うち留学生数	専任教員数	兼任教員数	総教員数	
100人		76人	6人	2人	32人	34人	
(備考) (任意記載事項)							
「全課程の修了に必要な総単位数」および「開設している授業の種類」について、2025年度以前の入学者分は、学校教育法施行規則等の附則第2条(経過措置)に基づき、単位時間数を記載している。							
2026年5月1日現在の全学科教員総数は専任33名、兼任273名である。							

カリキュラム (授業方法及び内容、年間の授業計画)
(概要) 様式第2号の3【(3)厳格かつ適正な成績管理の実施及び公表】の1.を参照
成績評価の基準・方法
(概要) 様式第2号の3【(3)厳格かつ適正な成績管理の実施及び公表】の3.を参照
卒業・進級の認定基準
(概要) 様式第2号の3【(3)厳格かつ適正な成績管理の実施及び公表】の4.を参照
学修支援等
(概要) 半期全授業15回のうち、7回目に中間試験、15回目に期末試験、この他、中間試験、期末試験後に実技に関する試験を設定し、内容の理解、修得状況について評価を行い、学生にフィードバックを行っている。年間2回の定期担任面談の他、随時、授業・レッスン担当者や担任、学科長による相談を受け付け、キャリアセンター(就業支援)、国際交流センター(留学生対応)、学務・学生支援部演奏担当(学内外での音楽活動)、学校カウンセラー(匿名相談も可能な学生相談)などで学修全般にわたるサポートを行っている。

卒業生数、進学者数、就職者数 (直近の年度の状況を記載)			
卒業生数	進学者数	就職者数 (自営業を含む。)	その他

32 人 (100%)	3 人 (9.4%)	6 人 (18.8%)	23 人 (71.9%)
(主な就職、業界等) プレイヤー（事務所所属、フリーランス）、講師（楽器店、音楽教室、フリー）、劇団、音楽・エンタテインメント関連企業、音楽系ショップ等			
(就職指導内容) 学内開催オーディション（企業招聘）、就職講座、キャリアカウンセリング、応募書類作成指導、面接練習、メールによる希望分野の求人情報配信、進路/就職ガイダンス、学内企業説明会等			
(主な学修成果（資格・検定等）) 各種オーディション合格、学外演奏活動、他			
(備考)（任意記載事項）			

中途退学の現状		
年度当初在学者数	年度の途中における退学者の数	中退率
77 人	9 人	11.7 %
(中途退学の主な理由) 勉学意欲喪失 (7) 進路変更 (1) 経済的理由 (1)		
(中退防止・中退者支援のための取組) 中途退学に繋がる勉学意欲喪失の最初の表れが授業欠席であり、出欠状況を含む学修状況はクラス担任が確認、把握している。クラス担任による年 2 回の個別学生面談のほか、毎週のクラスタイムやクラス授業等で修学上の不安や悩みごとの相談を受けている。学生の状況によっては、随時家族保証人とも連絡をとりあい情報共有している。学資の問題については教務課が窓口となり、学費分納や各種奨学金等の相談を受けている。学科や専攻の変更についても、出来る限り本人の希望に沿う方向で柔軟に対応している。退学希望の学生に対しても、退学後の状況についてクラス担任が十分な聞き取りを行い、必要なアドバイスを提供している。退学を希望する理由によっては、復学も選択肢にあることを説明している。		

分野	課程名	学科名	専門士	高度専門士			
文化・教養	音楽専門課程	プロミュージシャン 学科	○				
修業 年限	昼夜	全課程の修了に必要な総 単位数	開設している授業の種類				
			講義	演習	実習	実験	実技
2 年	昼	1 年生 : 62 単位 2 年生 : 1,710 単位時間	[1 年] 4 単位 [2 年] 90 単位 時間	[1 年] 62 単位 (バンドヴ オーカル、 シンガーソ ングライター 専攻)	[1 年] 2 単位 [2 年] 90 単位 時間		[1 年] 12 単位 [2 年] 120 単位 時間

				54 単位 (ギター、ベース、ドラム、キーボード専攻) [2 年] 3,240 単位時間		
				1 年(バンドヴォーカル、シンガーソングライター専攻) 80 単位 1 年(ギター、ベース、ドラム、キーボード専攻) 72 単位 2 年 3,540 単位時間		
生徒総定員数	生徒実員	うち留学生数	専任教員数	兼任教員数	総教員数	
155 人	146 人	6 人	4 人	51 人	56 人	
<p>(備考) (任意記載事項)</p> <p>「全課程の修了に必要な総単位数」および「開設している授業の種類」について、2025 年度以前の入学者分は、学校教育法施行規則等の附則第 2 条(経過措置)に基づき、単位時間数を記載している。</p> <p>専任教員 4 名のうち、1 名がミュージックビジネス学科と兼ねている。</p> <p>2026 年 5 月 1 日現在の全学科教員総数は専任 33 名、兼任 273 名である。</p>						

カリキュラム (授業方法及び内容、年間の授業計画)
(概要) 様式第 2 号の 3 【(3) 厳格かつ適正な成績管理の実施及び公表】の 1. を参照
成績評価の基準・方法
(概要) 様式第 2 号の 3 【(3) 厳格かつ適正な成績管理の実施及び公表】の 3. を参照
卒業・進級の認定基準
(概要) 様式第 2 号の 3 【(3) 厳格かつ適正な成績管理の実施及び公表】の 4. を参照
学修支援等
(概要) 半期全授業 15 回のうち、7 回目に中間試験、15 回目に期末試験、この他、中間試験、期末試験後に実技に関する試験を設定し、内容の理解、修得状況について評価を行い、学生にフィードバックを行っている。年間 2 回の定期担任面談の他、随時、授業・レッスン担当者や担任、学科長による相談を受け付け、キャリアセンター(就業支援)、国際交流センター(留学生対応)、学務・学生支援部演奏担当(学内外での音楽活動)、学校カウンセラー(匿名相談も可能な学生相談)などで学修全般にわたるサポートを行っている。

卒業生数、進学者数、就職者数 (直近の年度の状況を記載)			
卒業生数	進学者数	就職者数 (自営業を含む。)	その他
55 人 (100%)	14 人 (25.5%)	14 人 (25.5%)	27 人 (49.1%)

(主な就職、業界等) プレイヤー（事務所所属、フリーランス）、講師（楽器店、音楽教室、フリー）、音楽・エンタテインメント関連企業、音楽系ショップ等
(就職指導内容) 学内開催オーディション（企業招聘）、就職講座、キャリアカウンセリング、応募書類作成指導、面接練習、メールによる希望分野の求人情報配信、進路/就職ガイダンス、学内企業説明会等
(主な学修成果（資格・検定等）) 各種オーディション合格、学外演奏活動、他
(備考)（任意記載事項）

中途退学の現状		
年度当初在学者数	年度の途中における退学者の数	中退率
143 人	16 人	11.2 %
(中途退学の主な理由) 勉学意欲喪失 (7) 心身の問題 (4) 進路変更 (2) 経済的理由 (1) その他 (本国への帰国) (2)		
(中退防止・中退者支援のための取組) 中途退学に繋がる勉学意欲喪失の最初の表れが授業欠席であり、出欠状況を含む学修状況はクラス担任が確認、把握している。クラス担任による年2回の個別学生面談のほか、毎週のクラスタイムやクラス授業等で学修上の不安や悩みごとの相談を受けている。学生の状況により、特に心身に問題を抱える場合は、随時家族保証人とも連絡をとりあい情報共有している。学資の問題については教務課が窓口となり、学費分納や各種奨学金等の相談を受けている。学科や専攻の変更についても、出来る限り本人の希望に沿う方向で柔軟に対応している。退学希望の学生に対しても、退学後の状況についてクラス担任が十分な聞き取りを行い、必要なアドバイスを提供している。退学を希望する理由によっては、復学も選択肢にあることを説明している。		

分野		課程名	学科名	専門士	高度専門士	
文化・教養		音楽専門課程	アレンジ・作曲学科	○		
修業 年限	昼夜	全課程の修了に必要な総 単位数	開設している授業の種類			
			講義	演習	実習	実験
2年	昼	1年生：64単位 2年生：1,725単位時間	[1年] 8単位 [2年] 165単位 時間	[1年] 60単位 (ソングラ イティング 専攻) 58単位 (エレクト ロニックミ ュージック 専攻) 62単位 (映像音楽	[1年] 4単位 (ソングラ イティング 専攻) 6単位 (エレクト ロニックミ ュージック 専攻) 2単位 (映像音楽	[1年] 12単位 [2年] 120単位 時間

				専攻) [2年] 3,480 単位時間	専攻) [2年] 90 単位 時間		
				1年 84 単位 2年 3,540 単位時間			
生徒総定員数	生徒実員	うち留学生数	専任教員数	兼任教員数	総教員数		
155 人	190 人	30 人	3 人	42 人	45 人		
<p>(備考) (任意記載事項)</p> <p>「全課程の修了に必要な総単位数」および「開設している授業の種類」について、2025年度以前の入学者分は、学校教育法施行規則等の附則第2条(経過措置)に基づき、単位時間数を記載している。</p> <p>専任教員3名のうち、2名が音楽総合アカデミー学科と兼ねている。</p> <p>2026年5月1日現在の全学科教員総数は専任33名、兼任273名である。</p>							

カリキュラム (授業方法及び内容、年間の授業計画)
(概要) 様式第2号の3【(3)厳格かつ適正な成績管理の実施及び公表】の1. を参照
成績評価の基準・方法
(概要) 様式第2号の3【(3)厳格かつ適正な成績管理の実施及び公表】の3. を参照
卒業・進級の認定基準
(概要) 様式第2号の3【(3)厳格かつ適正な成績管理の実施及び公表】の4. を参照
学修支援等
(概要) 半期全授業15回のうち、7回目に中間試験、15回目に期末試験、この他、中間試験、期末試験後に実技に関する試験を設定し、内容の理解、修得状況について評価を行い、学生にフィードバックを行っている。年間2回の定期担任面談の他、随時、授業・レッスン担当者や担任、学科長による相談を受け付け、キャリアセンター(就業支援)、国際交流センター(留学生対応)、学務・学生支援部演奏担当(学内外での音楽活動)、学校カウンセラー(匿名相談も可能な学生相談)などで学修全般にわたるサポートを行っている。

卒業生数、進学者数、就職者数 (直近の年度の状況を記載)			
卒業生数	進学者数	就職者数 (自営業を含む。)	その他
61 人 (100%)	6 人 (9.8%)	17 人 (27.9%)	38 人 (62.3%)
(主な就職、業界等) 作曲家・編曲家・プレイヤー(就職、事務所所属、フリーランス)、映像制作関連企業、音楽・エンタテインメント関連企業、音響・照明・舞台制作関連企業、音楽系ショップ、楽器店、音楽教室			

(就職指導内容) 学内開催オーディション(企業招聘)、就職講座、キャリアカウンセリング、応募書類作成指導、面接練習、メールによる希望分野の求人情報配信、進路/就職ガイダンス、学内企業説明会等
(主な学修成果(資格・検定等)) 各種オーディション合格、自主制作活動、他
(備考) (任意記載事項)

中途退学の現状		
年度当初在学者数	年度の途中における退学者の数	中退率
195 人	29 人	14.9 %
(中途退学の主な理由) 勉学意欲喪失(12) 心身の問題(9) 進路変更(4) 経済的理由(2) 未手続除籍(2)		
(中退防止・中退者支援のための取組) 中途退学に繋がる勉学意欲喪失の最初の表れが授業欠席であり、出欠状況を含む学修状況はクラス担任が確認、把握している。クラス担任による年2回の個別学生面談のほか、毎週のクラスタイムやクラス授業等で修学上の不安や悩みごとの相談を受けている。学生の状況により、特に心身に問題を抱える場合は、随時家族保証人とも連絡をとりあい情報共有している。学資の問題については教務課が窓口となり、学費分納や各種奨学金等の相談を受けている。学科や専攻の変更についても、出来る限り本人の希望に沿う方向で柔軟に対応している。退学希望の学生に対しても、退学後の状況についてクラス担任が十分な聞き取りを行い、必要なアドバイスを提供している。退学を希望する理由によっては、復学も選択肢にあることを説明している。		

分野		課程名	学科名	専門士	高度専門士	
文化・教養		音楽専門課程	ミュージカル学科	○		
修業 年限	昼夜	全課程の修了に必要な総 単位数	開設している授業の種類			
			講義	演習	実習	実験 実技
2年	夜	1,710 単位時間(2年生)		930 単 位時間	90 単位 時間	60 単位 時間
	昼		1,080 単位時間(2年生分のみ計上)			
生徒総定員数		生徒実員	うち留学生数	専任教員数	兼任教員数	総教員数
30 人 (2年生のみ在籍)		25 人 (2年生のみ)	0 人	2 人	11 人	13 人

<p>(備考) (任意記載事項)</p> <p>2025 年度入学者のみ在籍のため、「全課程の修了に必要な総単位数」および「開設している授業の種類」について、学校教育法施行規則等の附則第 2 条（経過措置）に基づき単位時間数を記載している。</p> <p>専任教員 2 名のうち、1 名がパフォーマンスアート学科、1 名が声優学科およびパフォーマンスアート学科と兼ねている。</p> <p>2026 年 5 月 1 日現在の全学科教員総数は専任 33 名、兼任 273 名である。</p>
--

カリキュラム (授業方法及び内容、年間の授業計画)
(概要) 様式第 2 号の 3 【(3) 厳格かつ適正な成績管理の実施及び公表】の 1. を参照
成績評価の基準・方法
(概要) 様式第 2 号の 3 【(3) 厳格かつ適正な成績管理の実施及び公表】の 3. を参照
卒業・進級の認定基準
(概要) 様式第 2 号の 3 【(3) 厳格かつ適正な成績管理の実施及び公表】の 4. を参照
学修支援等
(概要) 半期全授業 15 回のうち、7 回目に中間試験、15 回目に期末試験、この他、中間試験、期末試験後に実技に関する試験を設定し、内容の理解、修得状況について評価を行い、学生にフィードバックを行っている。年間 2 回の定期担任面談の他、随時、授業・レッスン担当者や担任、学科長による相談を受け付け、キャリアセンター（就業支援）、国際交流センター（留学生対応）、学務・学生支援部演奏担当（学内外での音楽活動）、学校カウンセラー（匿名相談も可能な学生相談）などで学修全般にわたるサポートを行っている。

卒業生数、進学者数、就職者数 (直近の年度の状況を記載)			
卒業生数	進学者数	就職者数 (自営業を含む。)	その他
17 人 (100%)	0 人 (0%)	1 人 (5.9%)	16 人 (94.1%)
(主な就職、業界等) 劇団、商業演劇、テーマパーク、音楽・エンタテインメント関連企業、舞台制作関連企業、音楽系ショップ、音楽教室、ダンス教室			
(就職指導内容) 学内開催オーディション（企業招聘）、キャリアカウンセリング、応募書類作成指導、面接練習、メールによる希望分野の求人情報配信、進路/就職ガイダンス、マナー・コミュニケーション講座、学内企業説明会等			
(主な学修成果 (資格・検定等)) 各種オーディション合格、他			

(備考) (任意記載事項)

中途退学の現状		
年度当初在学者数	年度の途中における退学者の数	中退率
42 人	0 人	0%
(中途退学の主な理由) 中途退学者なし		
(中退防止・中退者支援のための取組) 中途退学に繋がる勉強意欲喪失の最初の表れが授業欠席であり、出欠状況を含む学修状況はクラス担任が確認、把握している。クラス担任による年2回の個別学生面談のほか、毎週のクラスタイムやクラス授業等で修学上の不安や悩みごとの相談を受けている。学生の状況によっては、随時家族保証人とも連絡をとりあい情報共有している。学資の問題については教務課が窓口となり、学費分納や各種奨学金等の相談を受けている。学科や専攻の変更についても、出来る限り本人の希望に沿う方向で柔軟に対応している。退学希望の学生に対しても、退学後の状況についてクラス担任が十分な聞き取りを行い、必要なアドバイスを提供している。退学を希望する理由によっては、復学も選択肢にあることを説明している。		

分野		課程名	学科名	専門士	高度専門士		
文化・教養		音楽専門課程	ダンス学科	○			
修業 年限	昼夜	全課程の修了に必要な総 単位数	開設している授業の種類				
			講義	演習	実習	実験	実技
2年	昼	1,740 単位時間 (2年生)	60 単位 時間	840 単 位時間	90 単位 時間		
			990 単位時間 (2年生分のみ計上)				
生徒総定員数		生徒実員	うち留学生数	専任教員数	兼任教員数	総教員数	
30 人 (2年生のみ在籍)		13 人 (2年生のみ)	0 人	2 人	8 人	10 人	

(備考) (任意記載事項)

2025 年度入学者のみ在籍のため、「全課程の修了に必要な総単位数」および「開設している授業の種類」について、学校教育法施行規則等の附則第 2 条（経過措置）に基づき単位時間数を記載している。

専任教員 2 名は、パフォーマンスアート学科と兼ねている。

2026 年 5 月 1 日現在の全学科教員総数は専任 33 名、兼任 273 名である。

カリキュラム (授業方法及び内容、年間の授業計画)

(概要)

様式第 2 号の 3 【(3) 厳格かつ適正な成績管理の実施及び公表】の 1. を参照

成績評価の基準・方法

(概要) 様式第2号の3【(3)厳格かつ適正な成績管理の実施及び公表】の3.を参照
卒業・進級の認定基準
(概要) 様式第2号の3【(3)厳格かつ適正な成績管理の実施及び公表】の4.を参照
学修支援等
(概要) 半期全授業15回のうち、7回目に中間試験、15回目に期末試験、この他、中間試験、期末試験後に実技に関する試験を設定し、内容の理解、修得状況について評価を行い、学生にフィードバックを行っている。年間2回の定期担任面談の他、随時、授業・レッスン担当者や担任、学科長による相談を受け付け、キャリアセンター（就業支援）、国際交流センター（留学生対応）、学務・学生支援部演奏担当（学内外での音楽活動）、学校カウンセラー（匿名相談も可能な学生相談）などで学修全般にわたるサポートを行っている。

卒業生数、進学者数、就職者数（直近の年度の状況を記載）			
卒業生数	進学者数	就職者数 （自営業を含む。）	その他
15人 (100%)	1人 (6.7%)	0人 (0%)	14人 (93.3%)
(主な就職、業界等) ダンサー（事務所所属、テーマパーク、フリーランス）、音楽・エンタテインメント関連企業、舞台制作関連企業、音楽系ショップ、ダンス教室			
(就職指導内容) キャリアカウンセリング、応募書類作成指導、面接練習、メールによる希望分野の求人情報配信、進路/就職ガイダンス、学内企業説明会等			
(主な学修成果（資格・検定等）) 各種オーディション合格、他			
(備考)（任意記載事項）			

中途退学の現状		
年度当初在学者数	年度の途中における退学者の数	中退率
30人	2人	6.7%
(中途退学の主な理由) 進路変更(1) 勉学意欲喪失(1)		

(中退防止・中退者支援のための取組)

中途退学に繋がる勉強意欲喪失の最初の表れが授業欠席であり、出欠状況を含む学修状況はクラス担任が確認、把握している。クラス担任による年2回の個別学生面談のほか、毎週のクラスタイムやクラス授業等で修学上の不安や悩みごとの相談を受けている。学生の状況によっては、随時家族保証人とも連絡をとりあい情報共有している。学資の問題については教務課が窓口となり、学費分納や各種奨学金等の相談を受けている。学科や専攻の変更についても、出来る限り本人の希望に沿う方向で柔軟に対応している。退学希望の学生に対しても、退学後の状況についてクラス担任が十分な聞き取りを行い、必要なアドバイスを提供している。退学を希望する理由によっては、復学も選択肢にあることを説明している。

分野		課程名	学科名	専門士	高度専門士		
文化・教養		音楽専門課程	声優学科	○			
修業 年限	昼夜	全課程の修了に必要な総 単位数	開設している授業の種類				
			講義	演習	実習	実験	実技
2年	昼	1,740 単位時間 (2年生)	30 単位 時間	900 単 位時間	90 単位 時間		
			1,020 単位時間 (2年生分のみ計上)				
生徒総定員数		生徒実員	うち留学生数	専任教員数	兼任教員数	総教員数	
30人 (2年生のみ在籍)		23人 (2年生のみ)	0人	3人	9人	12人	
(備考) (任意記載事項)							
2025 年度入学者のみ在籍のため、「全課程の修了に必要な総単位数」および「開設している授業の種類」について、学校教育法施行規則等の附則第2条(経過措置)に基づき単位時間数を記載している。							
専任教員3名のうち、1名がパフォーマンスアーツ学科、1名がミュージカル学科およびパフォーマンスアーツ学科と兼ねている。							
2026年5月1日現在の全学科教員総数は専任33名、兼任273名である。							

カリキュラム (授業方法及び内容、年間の授業計画)
(概要) 様式第2号の3【(3)厳格かつ適正な成績管理の実施及び公表】の1.を参照
成績評価の基準・方法
(概要) 様式第2号の3【(3)厳格かつ適正な成績管理の実施及び公表】の3.を参照
卒業・進級の認定基準
(概要) 様式第2号の3【(3)厳格かつ適正な成績管理の実施及び公表】の4.を参照
学修支援等

<p>(概要)</p> <p>半期全授業 15 回のうち、7 回目に中間試験、15 回目に期末試験、この他、中間試験、期末試験後に実技に関する試験を設定し、内容の理解、修得状況について評価を行い、学生にフィードバックを行っている。年間 2 回の定期担任面談の他、随時、授業・レッスン担当者や担任、学科長による相談を受け付け、キャリアセンター（就業支援）、国際交流センター（留学生対応）、学務・学生支援部演奏担当（学内外での音楽活動）、学校カウンセラー（匿名相談も可能な学生相談）などで学修全般にわたるサポートを行っている。</p>

卒業生数、進学者数、就職者数（直近の年度の状況を記載）			
卒業生数	進学者数	就職者数 （自営業を含む。）	その他
16 人 (100%)	0 人 (0%)	3 人 (18.8%)	13 人 (81.3%)
(主な就職、業界等) 声優、俳優、劇団、養成所、音楽・エンタテインメント関連企業、音響・照明・舞台制作関連企業			
(就職指導内容) キャリアカウンセリング、応募書類作成指導、面接練習、メールによる希望分野の求人情報配信、進路/就職ガイダンス、学内企業説明会等			
(主な学修成果（資格・検定等）) 各種オーディション合格、他			
(備考)（任意記載事項）			

中途退学の現状		
年度当初在学者数	年度の途中における退学者の数	中退率
42 人	3 人	7.1 %
(中途退学の主な理由) 心身の問題 (2) 勉学意欲喪失 (1)		
(中退防止・中退者支援のための取組) 中途退学に繋がる勉学意欲喪失の最初の表れが授業欠席であり、出欠状況を含む学修状況はクラス担任が確認、把握している。クラス担任による年 2 回の個別学生面談のほか、毎週のクラスタイムやクラス授業等で修学上の不安や悩みごとの相談を受けている。学生の状況により、特に心身に問題を抱える場合は、随時家族保証人とも連絡をとりあい情報共有している。学資の問題については教務課が窓口となり、学費分納や各種奨学金等の相談を受けている。学科や専攻の変更についても、出来る限り本人の希望に沿う方向で柔軟に対応している。退学希望の学生に対しても、退学後の状況についてクラス担任が十分な聞き取りを行い、必要なアドバイスを提供している。退学を希望する理由によっては、復学も選択肢にあることを説明している。		

分野		課程名	学科名	専門士	高度専門士		
文化・教養		音楽専門課程	パフォーミングアーツ学科	○			
修業 年限	昼夜	全課程の修了に必要な総 単位数	開設している授業の種類				
			講義	演習	実習	実験	実技
2年	昼	プロダンサー専攻 62 単位 ミュージカル専攻 66 単位 声優俳優専攻 62 単位 演出・制作専攻 62 単位	4 単位 (プロダン サー専攻)	32 単位 (プロダン サー専攻)			
			4 単位 (ミュージ カル専攻)	28 単位 (ミュージ カル専攻)			
			8 単位 (声優俳優 専攻)	28 単位 (声優俳優 専攻)			
			6 単位 (演出・制作 専攻)	29 単位 (演出・制作 専攻)			
			プロダンサー専攻 36 単位 (1 年生分のみ計上) ミュージカル専攻 38 単位 (1 年生分のみ計上) 声優俳優専攻 36 単位 (1 年生分のみ計上) 演出・制作専攻 35 単位 (1 年生分のみ計上)				
生徒総定員数	生徒実員	うち留学生数	専任教員数	兼任教員数	総教員数		
90 人 (1 年生のみ在籍)	55 人 (1 年生のみ)	2 人	5 人	26 人	31 人		
<p>(備考) (任意記載事項)</p> <p>1 年次生のみ在籍のため、「開設している授業の種類」は 1 年生分のみを計上している。</p> <p>専任教員 5 名のうち、2 名がダンス学科、1 名がミュージカル学科、1 名が声優学科、1 名がミュージカル学科および声優学科と兼ねている。</p> <p>2026 年 5 月 1 日現在の全学科教員総数は専任 33 名、兼任 273 名である。</p>							

カリキュラム (授業方法及び内容、年間の授業計画)
(概要) 様式第 2 号の 3 【(3) 厳格かつ適正な成績管理の実施及び公表】の 1. を参照
成績評価の基準・方法
(概要) 様式第 2 号の 3 【(3) 厳格かつ適正な成績管理の実施及び公表】の 3. を参照
卒業・進級の認定基準
(概要) 様式第 2 号の 3 【(3) 厳格かつ適正な成績管理の実施及び公表】の 4. を参照
学修支援等

<p>(概要)</p> <p>半期全授業 15 回のうち、7 回目に中間試験、15 回目に期末試験、この他、中間試験、期末試験後に実技に関する試験を設定し、内容の理解、修得状況について評価を行い、学生にフィードバックを行っている。年間 2 回の定期担任面談の他、随時、授業・レッスン担当者や担任、学科長による相談を受け付け、キャリアセンター（就業支援）、国際交流センター（留学生対応）、学務・学生支援部演奏担当（学内外での音楽活動）、学校カウンセラー（匿名相談も可能な学生相談）などで学修全般にわたるサポートを行っている。</p>

卒業生数、進学者数、就職者数（直近の年度の状況を記載）			
卒業生数	進学者数	就職者数 (自営業を含む。)	その他
0 人 (%)	0 人 (%)	0 人 (%)	0 人 (%)
<p>(主な就職、業界等) (主な就職、業界等)</p> <p>ダンサー（事務所所属、テーマパーク、フリーランス）、俳優（劇団、商業演劇、メディア）、声優、舞台監督助手、制作助手、演出助手舞台制作関連企業、音響・照明・舞台制作関連企業、音楽系ショップ、音楽教室、ダンス教室、音楽・エンタテインメント関連企業他</p>			
<p>(就職指導内容)</p> <p>キャリアカウンセリング、応募書類作成指導、面接練習、メールによる希望分野の求人情報配信、進路/就職ガイダンス、学内企業説明会等</p>			
(主な学修成果（資格・検定等）)			
<p>(備考) (任意記載事項)</p> <p>2026 年 4 月開設学科のため卒業生なし</p>			

中途退学の現状		
年度当初在学者数	年度の途中における退学者の数	中退率
0 人	0 人	%
<p>(中途退学の主な理由)</p> <p>2026 年 4 月開設学科のため昨年度は在籍者なし</p>		
<p>(中退防止・中退者支援のための取組)</p> <p>中途退学に繋がる勉強意欲喪失の最初の表れが授業欠席であり、出欠状況を含む学修状況はクラス担任が確認、把握している。クラス担任による年 2 回の個別学生面談のほか、毎週のクラスタイムやクラス授業等で修学上の不安や悩みごとの相談を受けている。学生の状況によっては、随時家族保証人とも連絡をとりあい情報共有している。学資の問題については教務課が窓口となり、学費分納や各種奨学金等の相談を受けている。学科や専攻の変更についても、出来る限り本人の希望に沿う方向で柔軟に対応している。退学希望の学生に対しても、退学後の状況についてクラス担任が十分な聞き取りを行い、必要なアドバイスを提供している。退学を希望する理由によっては、復学も選択肢にあることを説明している。</p>		

分野		課程名	学科名	専門士	高度専門士	
文化・教養		音楽専門課程	音響・映像・照明学科	○		
修業 年限	昼夜	全課程の修了に必要な総 単位数	開設している授業の種類			
			講義	演習	実習	実験
2年	昼	1,740 単位時間 (2年生)	660 単 位時間	690 単 位時間	270 単 位時間	
			1,620 単位時間 (2年生分のみ計上)			
生徒総定員数		生徒実員	うち留学生数	専任教員数	兼任教員数	総教員数
100 人 (2年生のみ在籍)		62 人 (2年生のみ)	0 人	1 人	8 人	9 人
(備考) (任意記載事項) 2025 年度入学者のみ在籍のため、「全課程の修了に必要な総単位数」および「開設している授業の種類」について、学校教育法施行規則等の附則第 2 条 (経過措置) に基づき単位時間数を記載している。 専任教員 1 名はエンタテインメントスタッフ学科と兼ねている。 2026 年 5 月 1 日現在の全学科教員総数は専任 33 名、兼任 273 名である。						

カリキュラム (授業方法及び内容、年間の授業計画)
(概要) 様式第 2 号の 3 【(3) 厳格かつ適正な成績管理の実施及び公表】の 1. を参照
成績評価の基準・方法
(概要) 様式第 2 号の 3 【(3) 厳格かつ適正な成績管理の実施及び公表】の 3. を参照
卒業・進級の認定基準
(概要) 様式第 2 号の 3 【(3) 厳格かつ適正な成績管理の実施及び公表】の 4. を参照
学修支援等
(概要) 半期全授業 15 回のうち、7 回目に中間試験、15 回目に期末試験、この他、中間試験、期末試験後に実技に関する試験を設定し、内容の理解、修得状況について評価を行い、学生にフィードバックを行っている。年間 2 回の定期担任面談の他、随時、授業・レッスン担当者や担任、学科長による相談を受け付け、キャリアセンター (就業支援)、国際交流センター (留学生対応)、学務・学生支援部演奏担当 (学内外での音楽活動)、学校カウンセラー (匿名相談も可能な学生相談) などで学修全般にわたるサポートを行っている。

卒業生数、進学者数、就職者数 (直近の年度の状況を記載)			
卒業生数	進学者数	就職者数 (自営業を含む。)	その他

43 人 (100%)	0 人 (0%)	40 人 (93.0%)	3 人 (7.0%)
(主な就職、業界等) 音響・照明・舞台制作関連企業、映像制作関連企業、音楽・エンタテインメント関連企業 他			
(就職指導内容) キャリアカウンセリング、応募書類作成指導、面接練習、メールによる希望分野の求人情報配信、進路/就職ガイダンス、学内企業説明会、インターン指導・支援等			
(主な学修成果(資格・検定等)) 舞台機構調整技能士、ドローン検定協会無人航空従事者試験、日本音楽スタジオ協会 Pro Tools 技術認定試験、日本照明家協会舞台・テレビジョン照明技術者技能認定、日本ポストプロダクション協会映像音響処理技術者、ビジネス著作権検定、他			
(備考) (任意記載事項)			

中途退学の現状		
年度当初在学者数	年度の途中における退学者の数	中退率
115 人	8 人	7.0 %
(中途退学の主な理由) 勉学意欲喪失 (4) 進路変更 (2) 心身の問題 (1) 学費未納除籍 (1)		
(中退防止・中退者支援のための取組) 中途退学に繋がる勉学意欲喪失の最初の表れが授業欠席であり、出欠状況を含む学修状況はクラス担任が確認、把握している。クラス担任による年 2 回の個別学生面談のほか、毎週のクラスタイムやクラス授業等で修学上の不安や悩みごとの相談を受けている。学生の状況により、特に心身に問題を抱える場合は、随時家族保証人とも連絡をとりあい情報共有している。学資の問題については教務課が窓口となり、学費分納や各種奨学金等の相談を受けている。学科や専攻の変更についても、出来る限り本人の希望に沿う方向で柔軟に対応している。退学希望の学生に対しても、退学後の状況についてクラス担任が十分な聞き取りを行い、必要なアドバイスを提供している。退学を希望する理由によっては、復学も選択肢にあることを説明している。		

分野	課程名	学科名	専門士	高度専門士
文化・教養	音楽専門課程	ミュージックビジネス学科	○	
修業年限	昼夜	全課程の修了に必要な総単位数	開設している授業の種類	
			講義	演習
			実習	実験
			実技	
2 年	昼	1,725 単位時間 (2 年生)	60 単位時間	1,440 単位時間
			45 単位時間	
			1,545 単位時間 (2 年生分のみ計上)	
生徒総定員数	生徒実員	うち留学生数	専任教員数	兼任教員数
			総教員数	

80人 (2年生のみ在籍)	43人 (2年生のみ)	1人	2人	12人	14人
<p>(備考) (任意記載事項)</p> <p>2025年度入学者のみ在籍のため、「全課程の修了に必要な総単位数」および「開設している授業の種類」について、学校教育法施行規則等の附則第2条(経過措置)に基づき単位時間数を記載している。</p> <p>専任教員2名のうち、1名がエンタテインメントHR学科、1名がプロミュージシャン学科と兼ねている。</p> <p>2026年5月1日現在の全学科教員総数は専任33名、兼任273名である。</p>					

カリキュラム(授業方法及び内容、年間の授業計画)
(概要) 様式第2号の3【(3)厳格かつ適正な成績管理の実施及び公表】の1.を参照
成績評価の基準・方法
(概要) 様式第2号の3【(3)厳格かつ適正な成績管理の実施及び公表】の3.を参照
卒業・進級の認定基準
(概要) 様式第2号の3【(3)厳格かつ適正な成績管理の実施及び公表】の4.を参照
学修支援等
(概要) 半期全授業15回のうち、7回目に中間試験、15回目に期末試験、この他、中間試験、期末試験後に実技に関する試験を設定し、内容の理解、修得状況について評価を行い、学生にフィードバックを行っている。年間2回の定期担任面談の他、随時、授業・レッスン担当者や担任、学科長による相談を受け付け、キャリアセンター(就業支援)、国際交流センター(留学生対応)、学務・学生支援部演奏担当(学内外での音楽活動)、学校カウンセラー(匿名相談も可能な学生相談)などで学修全般にわたるサポートを行っている。

卒業生数、進学者数、就職者数(直近の年度の状況を記載)			
卒業生数	進学者数	就職者数 (自営業を含む。)	その他
55人 (100%)	0人 (0%)	46人 (83.6%)	9人 (16.4%)
(主な就職、業界等) 音楽・エンタテインメント関連企業、映像関連企業、音響・照明・舞台制作関連企業、音楽系ショップ、楽器店、音楽教室			
(就職指導内容) キャリアカウンセリング、応募書類作成指導、面接練習、メールによる希望分野の求人情報配信、進路/就職ガイダンス、学内企業説明会、インターン指導・支援等			
(主な学修成果(資格・検定等)) ビジネス著作権検定、エンターズSNSスペシャリスト認定、他			

(備考) (任意記載事項)

中途退学の現状		
年度当初在学者数	年度の途中における退学者の数	中退率
102 人	3 人	2.9 %
(中途退学の主な理由) 勉学意欲喪失 (1) 心身の問題 (1) 未手続除籍 (1)		
(中退防止・中退者支援のための取組) 中途退学に繋がる勉学意欲喪失の最初の表れが授業欠席であり、出欠状況を含む学修状況はクラス担任が確認、把握している。クラス担任による年2回の個別学生面談のほか、毎週のクラスタイムやクラス授業等で修学上の不安や悩みごとの相談を受けている。学生の状況により、特に心身に問題を抱える場合は、随時家族保証人とも連絡をとりあい情報共有している。学資の問題については教務課が窓口となり、学費分納や各種奨学金等の相談を受けている。学科や専攻の変更についても、出来る限り本人の希望に沿う方向で柔軟に対応している。退学希望の学生に対しても、退学後の状況についてクラス担任が十分な聞き取りを行い、必要なアドバイスを提供している。退学を希望する理由によっては、復学も選択肢にあることを説明している。		

分野		課程名	学科名	専門士	高度専門士		
文化・教養		音楽専門課程	エンタテインメント スタッフ学科	○			
修業 年限	昼夜	全課程の修了に必要な総 単位数	開設している授業の種類				
			講義	演習	実習	実験	実技
2 年	昼	64 単位	12 単位	27 単位			
			39 単位 (1 年生分のみ計上)				
生徒総定員数		生徒実員	うち留学生数	専任教員数	兼任教員数	総教員数	
120 人 (1 年生のみ在籍)		55 人 (1 年生のみ)	1 人	4 人	19 人	23 人	
(備考) (任意記載事項) 1 年次生のみ在籍のため、「開設している授業の種類」は1 年生分のみを計上している。 専任教員 4 名のうち、1 名が音響・映像・照明学科と兼ねている。 2026 年 5 月 1 日現在の全学科教員総数は専任 33 名、兼任 273 名である。							

カリキュラム (授業方法及び内容、年間の授業計画)
(概要) 様式第 2 号の 3 【(3) 厳格かつ適正な成績管理の実施及び公表】の 1. を参照
成績評価の基準・方法

(概要) 様式第2号の3【(3)厳格かつ適正な成績管理の実施及び公表】の3.を参照
卒業・進級の認定基準
(概要) 様式第2号の3【(3)厳格かつ適正な成績管理の実施及び公表】の4.を参照
学修支援等
(概要) 半期全授業15回のうち、7回目に中間試験、15回目に期末試験、この他、中間試験、期末試験後に実技に関する試験を設定し、内容の理解、修得状況について評価を行い、学生にフィードバックを行っている。年間2回の定期担任面談の他、随時、授業・レッスン担当者や担任、学科長による相談を受け付け、キャリアセンター（就業支援）、国際交流センター（留学生対応）、学務・学生支援部演奏担当（学内外での音楽活動）、学校カウンセラー（匿名相談も可能な学生相談）などで学修全般にわたるサポートを行っている。

卒業生数、進学者数、就職者数（直近の年度の状況を記載）			
卒業生数	進学者数	就職者数 （自営業を含む。）	その他
0人 （ %）	0人 （ %）	0人 （ %）	0人 （ %）
(主な就職、業界等) 音楽・エンタテインメント関連企業、音響・照明・舞台制作関連企業、映像制作関連企業、音楽系ショップ、楽器店、音楽教室 他			
(就職指導内容) キャリアカウンセリング、応募書類作成指導、面接練習、メールによる希望分野の求人情報配信、進路/就職ガイダンス、学内企業説明会、インターン指導・支援等			
(主な学修成果（資格・検定等）)			
(備考)（任意記載事項） 2026年4月開設学科のため卒業生なし			

中途退学の現状		
年度当初在学者数	年度の途中における退学者の数	中退率
0人	0人	%
(中途退学の主な理由) 2026年4月開設学科のため昨年度は在籍者なし		

(中退防止・中退者支援のための取組)

中途退学に繋がる勉学意欲喪失の最初の表れが授業欠席であり、出欠状況を含む学修状況はクラス担任が確認、把握している。クラス担任による年2回の個別学生面談のほか、毎週のクラスタイムやクラス授業等で修学上の不安や悩みごとの相談を受けている。学生の状況によっては、随時家族保証人とも連絡をとりあい情報共有している。学資の問題については教務課が窓口となり、学費分納や各種奨学金等の相談を受けている。学科や専攻の変更についても、出来る限り本人の希望に沿う方向で柔軟に対応している。退学希望の学生に対しても、退学後の状況についてクラス担任が十分な聞き取りを行い、必要なアドバイスを提供している。退学を希望する理由によっては、復学も選択肢にあることを説明している。

分野		課程名	学科名	専門士	高度専門士		
文化・教養		音楽専門課程	エンタテインメント HR学科	○			
修業 年限	昼夜	全課程の修了に必要な総 単位数	開設している授業の種類				
			講義	演習	実習	実験	実技
2年	昼	66単位	8単位	21単位	2単位		6単位
			37単位(1年生分のみ計上)				
生徒総定員数		生徒実員	うち留学生 数	専任教員数	兼任教員数	総教員数	
30人 (1年生のみ)		0人 (10月入学のため申請時在籍なし)	0人 (10月入学のため申請時在籍なし)	2人	0人	2人	
(備考) (任意記載事項)							
2026年10月開設学科であり申請時には在籍学生がないが、1年生分の「開設している授業の種類」を計上している。							
教員数は2026年5月1日現在数を記入している。専任教員2名のうち、1名がミュージックビジネス学科と兼ねている。							
2026年5月1日現在の全学科教員総数は専任33名、兼任273名である。							

カリキュラム (授業方法及び内容、年間の授業計画)
(概要) 様式第2号の3【(3)厳格かつ適正な成績管理の実施及び公表】の1.を参照
成績評価の基準・方法
(概要) 様式第2号の3【(3)厳格かつ適正な成績管理の実施及び公表】の3.を参照
卒業・進級の認定基準
(概要) 様式第2号の3【(3)厳格かつ適正な成績管理の実施及び公表】の4.を参照
学修支援等

<p>(概要)</p> <p>半期全授業 15 回のうち、7 回目に中間試験、15 回目に期末試験、この他、中間試験、期末試験後に実技に関する試験を設定し、内容の理解、修得状況について評価を行い、学生にフィードバックを行っている。年間 2 回の定期担任面談の他、随時、授業・レッスン担当者や担任、学科長による相談を受け付け、キャリアセンター（就業支援）、国際交流センター（留学生対応）、学務・学生支援部演奏担当（学内外での音楽活動）、学校カウンセラー（匿名相談も可能な学生相談）などで学修全般にわたるサポートを行っている。</p>

卒業生数、進学者数、就職者数（直近の年度の状況を記載）			
卒業生数	進学者数	就職者数 （自営業を含む。）	その他
0 人 (%)	0 人 (%)	0 人 (%)	0 人 (%)
<p>(主な就職、業界等)</p> <p>音楽・エンタテインメント関連企業、音響・照明・舞台制作関連企業、映像制作関連企業、音楽系ショップ 他</p>			
<p>(就職指導内容)</p> <p>入学当初より、キャリアカウンセリング、応募書類作成指導、面接練習、メールによる希望分野の求人情報配信、進路/就職ガイダンス、学内企業説明会、インターン指導・支援等を予定している。</p>			
<p>(主な学修成果（資格・検定等）)</p>			
<p>(備考)（任意記載事項）</p> <p>2026 年 10 月開設学科のため卒業生なし</p>			

中途退学の現状		
年度当初在学者数	年度の途中における退学者の数	中退率
0 人	0 人	%
<p>(中途退学の主な理由)</p> <p>2026 年 10 月開設学科のため昨年度は在籍者なし</p>		
<p>(中退防止・中退者支援のための取組)</p> <p>エンタテインメントHR 学科は 10 月入学の学科のため、本申請時点では在籍者はいない。他の学科同様、中退防止・中退者支援のための取組の出発点は、クラス担任が出欠状況を含む学修状況を常に確認、把握することであり、これは当学科も当然踏襲する。また、クラス担任による年 2 回の個別学生面談を行い、その他、毎週のクラスタイムやクラス授業等で修学上の不安や悩みごと相談に対応する。学生の状況によっては、随時家族保証人とも連絡をとりあい情報共有することも想定している。</p>		

分野		課程名	学科名	専門士	高度専門士		
文化・教養		音楽専門課程	音楽総合アカデミー学 科ヴォーカルコース		○		
修業 年限	昼夜	全課程の修了に必要な総 単位数	開設している授業の種類				
			講義	演習	実習	実験	実技
4年	昼	1年生：124 単位 2年生：3,417 単位時間 3年生：3,417 単位時間 4年生：3,417 単位時間	[1年] 66 単位 [2年] 990 単位 時間 [3年] 990 単位 時間 [3年] 1110 単位 時間	[1年] 123 単位 [2年] 3750 単 位時間 [3年] 3750 単 位時間 [3年] 3810 単位 時間	[1年] 11 単位 [2年] 495 単位 時間 [3年] 495 単位 時間 [3年] 495 単位 時間		[1年] 30 単位 [2年] 312 単位 時間 [3年] 312 単位 時間 [3年] 312 単位 時間
			1年 230 単位 2年 5,547 単位時間 3年 5,547 単位時間 4年 5,727 単位時間				
生徒総定員数		生徒実員	うち留学生数	専任教員数	兼任教員数	総教員数	
120 人(全学科)		8 人	0 人	11 人(全科)	124 人(全科)	135 人(全科)	
(備考) (任意記載事項) 「全課程の修了に必要な総単位数」および「開設している授業の種類」について、2025年度以前の入学者分は、学校教育法施行規則等の附則第2条(経過措置)に基づき、単位時間数を記載している。 専任教員 11 名のうち、4 名が管弦打楽器学科、2 名がアレンジ・作曲学科、1 名がジャズ・ポピュラー学科と兼ねている。 2026 年 5 月 1 日現在の全学科教員総数は専任 33 名、兼任 273 名である。							

カリキュラム (授業方法及び内容、年間の授業計画)
(概要) 様式第2号の3【(3)厳格かつ適正な成績管理の実施及び公表】の1. を参照
成績評価の基準・方法 (概要) 様式第2号の3【(3)厳格かつ適正な成績管理の実施及び公表】の3. を参照
卒業・進級の認定基準 (概要) 様式第2号の3【(3)厳格かつ適正な成績管理の実施及び公表】の4. を参照
学修支援等 (概要) 半期全授業 15 回のうち、7 回目に中間試験、15 回目に期末試験、この他、中間試験、期末試験後に実技に関する試験を設定し、内容の理解、修得状況について評価を行い、学生にフィードバックを行っている。年間 2 回の定期担任面談の他、随時、授業・レッスン担当者や担任、学科長による相談を受け付け、キャリアセンター(就業支援)、国際交流センター(留学生対応)、学務・学生支援部演奏担当(学内外での音楽活動)、学校カウンセラー(匿名相談も可能な学生相談)などで学修全般にわたるサポートを行っている。

卒業生数、進学者数、就職者数（直近の年度の状況を記載）			
卒業生数	進学者数	就職者数 （自営業を含む。）	その他
8人 (100%)	0人 (0%)	3人 (37.5%)	5人 (62.5%)
（主な就職、業界等） プレイヤー（事務所所属、フリーランス）、講師（楽器店、音楽教室、フリー）、劇団、音楽・エンタテインメント関連企業、音楽系ショップ等			
（就職指導内容） キャリアカウンセリング、応募書類作成指導、面接練習、メールによる希望分野の求人情報配信、進路/就職ガイダンス、学内企業説明会等			
（主な学修成果（資格・検定等）） 各種オーディション合格、学外演奏活動、知的財産管理技能検定 他			
（備考）（任意記載事項）			

中途退学の現状		
年度当初在学者数	年度の途中における退学者の数	中退率
15人	0人	0%
（中途退学の主な理由） 中途退学者なし		
（中退防止・中退者支援のための取組） 中途退学に繋がる勉学意欲喪失の最初の表れが授業欠席であり、出欠状況を含む学修状況はクラス担任が確認、把握している。クラス担任による年2回の個別学生面談のほか、毎週のクラスタイムやクラス授業等で修学上の不安や悩みごとの相談を受けている。学生の状況によっては、随時家族保証人とも連絡をとりあい情報共有している。学資の問題については教務課が窓口となり、学費分納や各種奨学金等の相談を受けている。学科や専攻の変更についても、出来る限り本人の希望に沿う方向で柔軟に対応している。退学希望の学生に対しても、退学後の状況についてクラス担任が十分な聞き取りを行い、必要なアドバイスを提供している。退学を希望する理由によっては、復学も選択肢にあることを説明している。		

分野	課程名	学科名	専門士	高度専門士			
文化・教養	音楽専門課程	音楽総合アカデミー学科ピアノコース		○			
修業 年限	昼夜	全課程の修了に必要な総 単位数	開設している授業の種類				
			講義	演習	実習	実験	実技

4年	昼	1年生：124 単位 2年生：3,417 単位時間 3年生：3,417 単位時間 4年生：3,417 単位時間	[1年] 66 単位	[1年] 145 単位	[1年] 11 単位	[1年] 30 単位
			[2年] 990 単位 時間	[2年] 4350 単位 時間	[2年] 495 単位 時間	[2年] 312 単位 時間
			[3年] 990 単位 時間	[3年] 4350 単位 時間	[3年] 495 単位 時間	[3年] 312 単位 時間
			[3年] 990 単位 時間	[3年] 4380 単位 時間	[3年] 495 単位 時間	[3年] 312 単位 時間
			1年 252 単位 2年 6,147 単位時間 3年 6,147 単位時間 4年 6,177 単位時間			
生徒総定員数	生徒実員	うち留学生数	専任教員数	兼任教員数	総教員数	
120 人(全学科)	8 人	0 人	11 人(全科)	124 人(全科)	135 人(全科)	
<p>(備考) (任意記載事項)</p> <p>「全課程の修了に必要な総単位数」および「開設している授業の種類」について、2025年度以前の入学者分は、学校教育法施行規則等の附則第2条(経過措置)に基づき、単位時間数を記載している。</p> <p>専任教員11名のうち、4名が管弦打楽器学科、2名がアレンジ・作曲学科、1名がジャズ・ポピュラー学科と兼ねている。</p> <p>2026年5月1日現在の全学科教員総数は専任33名、兼任273名である。</p>						

カリキュラム (授業方法及び内容、年間の授業計画)
(概要) 様式第2号の3【(3)厳格かつ適正な成績管理の実施及び公表】の1.を参照
成績評価の基準・方法
(概要) 様式第2号の3【(3)厳格かつ適正な成績管理の実施及び公表】の3.を参照
卒業・進級の認定基準
(概要) 様式第2号の3【(3)厳格かつ適正な成績管理の実施及び公表】の4.を参照
学修支援等
(概要) 半期全授業15回のうち、7回目に中間試験、15回目に期末試験、この他、中間試験、期末試験後に実技に関する試験を設定し、内容の理解、修得状況について評価を行い、学生にフィードバックを行っている。年間2回の定期担任面談の他、随時、授業・レッスン担当者や担任、学科長による相談を受け付け、キャリアセンター(就業支援)、国際交流センター(留学生対応)、学務・学生支援部演奏担当(学内外での音楽活動)、学校カウンセラー(匿名相談も可能な学生相談)などで学修全般にわたるサポートを行っている。

卒業生数、進学者数、就職者数 (直近の年度の状況を記載)			
卒業生数	進学者数	就職者数 (自営業を含む。)	その他

2 人 (100%)	1 人 (50.0%)	1 人 (50.0%)	0 人 (0%)
(主な就職、業界等) プレイヤー（事務所所属、フリーランス）、ピアノ個人教室、音楽系ショップ、楽器店、音楽教室、音楽・エンタテインメント関連企業			
(就職指導内容) キャリアカウンセリング、応募書類作成指導、面接練習、メールによる希望分野の求人情報配信、進路/就職ガイダンス、学内企業説明会等			
(主な学修成果（資格・検定等）) 各種オーディション合格、学外演奏活動、知的財産管理技能検定 他			
(備考) (任意記載事項)			

中途退学の現状		
年度当初在学者数	年度の途中における退学者の数	中退率
8 人	1 人	12.5 %
(中途退学の主な理由) 勉学意欲喪失 (1)		
(中退防止・中退者支援のための取組) 中途退学に繋がる勉学意欲喪失の最初の表れが授業欠席であり、出欠状況を含む学修状況はクラス担任が確認、把握している。クラス担任による年2回の個別学生面談のほか、毎週のクラスタイムやクラス授業等で修学上の不安や悩みごとの相談を受けている。学生の状況によっては、随時家族保証人とも連絡をとりあい情報共有している。学資の問題については教務課が窓口となり、学費分納や各種奨学金等の相談を受けている。学科や専攻の変更についても、出来る限り本人の希望に沿う方向で柔軟に対応している。退学希望の学生に対しても、退学後の状況についてクラス担任が十分な聞き取りを行い、必要なアドバイスを提供している。退学を希望する理由によっては、復学も選択肢にあることを説明している。		

分野	課程名	学科名	専門士	高度専門士			
文化・教養	音楽専門課程	音楽総合アカデミー学科電子オルガンコース		○			
修業年限	昼夜	全課程の修了に必要な総単位数	開設している授業の種類				
			講義	演習	実習	実験	実技
4 年	昼	1 年生：124 単位	[1 年] 66 単位	[1 年] 135 単位	[1 年] 11 単位		[1 年] 30 単位
		2 年生：3,417 単位時間	[2 年] 990 単位時間	[2 年] 4050 単位時間	[2 年] 495 単位時間		[2 年] 312 単位時間
		3 年生：3,417 単位時間	[3 年] 990 単位時間	[3 年] 4050 単位時間	[3 年] 435 単位時間		[3 年] 312 単位時間
		4 年生：3,417 単位時間	[3 年] 990 単位時間	[3 年] 4050 単位時間	[3 年] 435 単位時間		[3 年] 312 単位時間

			[3年] 990 単位 時間	[3年] 3990 単位 時間	[3年] 495 単位 時間		[3年] 312 単位 時間
			1年 242 単位 2年 5,847 単位時間 3年 5,787 単位時間 4年 5,787 単位時間				
生徒総定員数	生徒実員	うち留学生数	専任教員数	兼任教員数	総教員数		
120 人(全学科)	7 人	0 人	11 人(全科)	124 人(全科)	135 人(全科)		
<p>(備考) (任意記載事項)</p> <p>「全課程の修了に必要な総単位数」および「開設している授業の種類」について、2025年度以前の入学者分は、学校教育法施行規則等の附則第2条(経過措置)に基づき、単位時間数を記載している。</p> <p>専任教員11名のうち、4名が管弦打楽器学科、2名がアレンジ・作曲学科、1名がジャズ・ポピュラー学科と兼ねている。</p> <p>2026年5月1日現在の全学科教員総数は専任33名、兼任273名である。</p>							

カリキュラム (授業方法及び内容、年間の授業計画)
(概要) 様式第2号の3【(3)厳格かつ適正な成績管理の実施及び公表】の1. を参照
成績評価の基準・方法
(概要) 様式第2号の3【(3)厳格かつ適正な成績管理の実施及び公表】の3. を参照
卒業・進級の認定基準
(概要) 様式第2号の3【(3)厳格かつ適正な成績管理の実施及び公表】の4. を参照
学修支援等
(概要) 半期全授業15回のうち、7回目に中間試験、15回目に期末試験、この他、中間試験、期末試験後に実技に関する試験を設定し、内容の理解、修得状況について評価を行い、学生にフィードバックを行っている。年間2回の定期担任面談の他、随時、授業・レッスン担当者や担任、学科長による相談を受け付け、キャリアセンター(就業支援)、国際交流センター(留学生対応)、学務・学生支援部演奏担当(学内外での音楽活動)、学校カウンセラー(匿名相談も可能な学生相談)などで学修全般にわたるサポートを行っている。

卒業生数、進学者数、就職者数 (直近の年度の状況を記載)			
卒業生数	進学者数	就職者数 (自営業を含む。)	その他
2 人 (100%)	0 人 (0%)	2 人 (100%)	0 人 (0%)
(主な就職、業界等) プレイヤー(事務所所属、フリーランス)、エレクトーン個人教室、音楽系ショップ、楽器店、音楽教室、音楽・エンタテインメント関連企業 他			

(就職指導内容) キャリアカウンセリング、応募書類作成指導、面接練習、メールによる希望分野の求人情報配信、進路/就職ガイダンス、学内企業説明会等
(主な学修成果(資格・検定等)) 各種オーディション合格、学外演奏活動、知的財産管理技能検定 他
(備考) (任意記載事項)

中途退学の現状		
年度当初在学者数	年度の途中における退学者の数	中退率
7 人	0 人	0%
(中途退学の主な理由) 中途退学者なし		
(中退防止・中退者支援のための取組) 中途退学に繋がる勉強意欲喪失の最初の表れが授業欠席であり、出欠状況を含む学修状況はクラス担任が確認、把握している。クラス担任による年2回の個別学生面談のほか、毎週のクラスタイムやクラス授業等で修学上の不安や悩みごとの相談を受けている。学生の状況によっては、随時家族保証人とも連絡をとりあい情報共有している。学資の問題については教務課が窓口となり、学費分納や各種奨学金等の相談を受けている。学科や専攻の変更についても、出来る限り本人の希望に沿う方向で柔軟に対応している。退学希望の学生に対しても、退学後の状況についてクラス担任が十分な聞き取りを行い、必要なアドバイスを提供している。退学を希望する理由によっては、復学も選択肢にあることを説明している。		

分野		課程名	学科名	専門士	高度専門士		
文化・教養		音楽専門課程	音楽総合アカデミー学科管弦打楽器コース		○		
修業年限	昼夜	全課程の修了に必要な総単位数	開設している授業の種類				
			講義	演習	実習	実験	実技
4年	昼	1年生：124 単位 2年生：3,417 単位時間 3年生：3,417 単位時間 4年生：3,417 単位時間	[1年] 66 単位	[1年] 115 単位	[1年] 15 単位		[1年] 30 単位
			[2年] 990 単位	[2年] 3690 単位	[2年] 675 単位		[2年] 312 単位
			[3年] 1230 単位	[3年] 4740 単位	[3年] 975 単位		[3年] 312 単位
			[3年] 1230 単位	[3年] 4710 単位	[3年] 975 単位		[3年] 312 単位
			1年 226 単位	2年 5,667 単位時間	3年 7,257 単位時間	4年 7,227 単位時間	

生徒総定員数	生徒実員	うち留学生数	専任教員数	兼任教員数	総教員数
120 人(全学科)	27 人	0 人	11 人(全科)	124 人(全科)	135 人(全科)
<p>(備考) (任意記載事項)</p> <p>「全課程の修了に必要な総単位数」および「開設している授業の種類」について、2025年度以前の入学者分は、学校教育法施行規則等の附則第2条(経過措置)に基づき、単位数を記載している。</p> <p>専任教員11名のうち、4名が管弦打楽器学科、2名がアレンジ・作曲学科、1名がジャズ・ポピュラー学科と兼ねている。</p> <p>2026年5月1日現在の全学科教員総数は専任33名、兼任273名である。</p>					

カリキュラム (授業方法及び内容、年間の授業計画)
(概要) 様式第2号の3【(3)厳格かつ適正な成績管理の実施及び公表】の1.を参照
成績評価の基準・方法
(概要) 様式第2号の3【(3)厳格かつ適正な成績管理の実施及び公表】の3.を参照
卒業・進級の認定基準
(概要) 様式第2号の3【(3)厳格かつ適正な成績管理の実施及び公表】の4.を参照
学修支援等
(概要) 半期全授業15回のうち、7回目に中間試験、15回目に期末試験、この他、中間試験、期末試験後に実技に関する試験を設定し、内容の理解、修得状況について評価を行い、学生にフィードバックを行っている。年間2回の定期担任面談の他、随時、授業・レッスン担当者や担任、学科長による相談を受け付け、キャリアセンター(就業支援)、国際交流センター(留学生対応)、学務・学生支援部演奏担当(学内外での音楽活動)、学校カウンセラー(匿名相談も可能な学生相談)などで学修全般にわたるサポートを行っている。

卒業生数、進学者数、就職者数 (直近の年度の状況を記載)			
卒業生数	進学者数	就職者数 (自営業を含む。)	その他
12 人 (100%)	2 人 (16.7%)	7 人 (58.3%)	3 人 (25.0%)
(主な就職、業界等) 演奏家、公務員音楽隊、楽団員、指導者(吹奏楽、マーチング、音楽教室、教員)、作曲家、音楽・エンタテインメント関連企業等			
(就職指導内容) キャリアカウンセリング、応募書類作成指導、面接練習、メールによる希望分野の求人情報配信、進路/就職ガイダンス、学内企業説明会等			

(主な学修成果 (資格・検定等)) 各種オーディション合格、学外演奏活動、知的財産管理技能検定 他
(備考) (任意記載事項)

中途退学の現状		
年度当初在学者数	年度の途中における退学者の数	中退率
25 人	2 人	8.0 %
(中途退学の主な理由) 進路変更 (1) その他 (警察音楽隊採用試験合格) (1)		
(中退防止・中退者支援のための取組) 中途退学に繋がる勉学意欲喪失の最初の表れが授業欠席であり、出欠状況を含む学修状況はクラス担任が確認、把握している。クラス担任による年2回の個別学生面談のほか、毎週のクラスタイムやクラス授業等で修学上の不安や悩みごとの相談を受けている。学生の状況によっては、随時家族保証人とも連絡をとりあい情報共有している。学資の問題については教務課が窓口となり、学費分納や各種奨学金等の相談を受けている。学科や専攻の変更についても、出来る限り本人の希望に沿う方向で柔軟に対応している。退学希望の学生に対しても、退学後の状況についてクラス担任が十分な聞き取りを行い、必要なアドバイスを提供している。退学を希望する理由によっては、復学も選択肢にあることを説明している。		

分野		課程名	学科名	専門士	高度専門士		
文化・教養		音楽専門課程	音楽総合アカデミー学科ジャズ・ポピュラーコース		○		
修業年限	昼夜	全課程の修了に必要な総単位数	開設している授業の種類				
			講義	演習	実習	実験	実技
4年	昼	1年生：124 単位 2年生：3,417 単位時間 3年生：3,417 単位時間 4年生：3,417 単位時間	[1年] 66 単位	[1年] 101 単位	[1年] 19 単位		[1年] 30 単位
			[2年] 990 単位 時間	[2年] 3090 単位 時間	[2年] 855 単位 時間		[2年] 312 単位 時間
			[3年] 990 単位 時間	[3年] 3090 単位 時間	[3年] 855 単位 時間		[3年] 312 単位 時間
			[3年] 990 単位 時間	[3年] 3090 単位 時間	[3年] 855 単位 時間		[3年] 312 単位 時間
			1年 216 単位 2年 5,247 単位時間 3年 5,247 単位時間 4年 5,247 単位時間				
生徒総定員数		生徒実員	うち留学生数	専任教員数	兼任教員数	総教員数	
120 人(全学科)		14 人	3 人	11 人(全科)	124 人(全科)	135 人(全科)	

<p>(備考) (任意記載事項)</p> <p>「全課程の修了に必要な総単位数」および「開設している授業の種類」について、2025年度以前の入学者分は、学校教育法施行規則等の附則第2条(経過措置)に基づき、単位数を記載している。</p> <p>専任教員11名のうち、4名が管弦打楽器学科、2名がアレンジ・作曲学科、1名がジャズ・ポピュラー学科と兼ねている。</p> <p>2026年5月1日現在の全学科教員総数は専任33名、兼任273名である。</p>
--

カリキュラム (授業方法及び内容、年間の授業計画)
(概要) 様式第2号の3【(3)厳格かつ適正な成績管理の実施及び公表】の1.を参照
成績評価の基準・方法
(概要) 様式第2号の3【(3)厳格かつ適正な成績管理の実施及び公表】の3.を参照
卒業・進級の認定基準
(概要) 様式第2号の3【(3)厳格かつ適正な成績管理の実施及び公表】の4.を参照
学修支援等
(概要) 半期全授業15回のうち、7回目に中間試験、15回目に期末試験、この他、中間試験、期末試験後に実技に関する試験を設定し、内容の理解、修得状況について評価を行い、学生にフィードバックを行っている。年間2回の定期担任面談の他、随時、授業・レッスン担当者や担任、学科長による相談を受け付け、キャリアセンター(就業支援)、国際交流センター(留学生対応)、学務・学生支援部演奏担当(学内外での音楽活動)、学校カウンセラー(匿名相談も可能な学生相談)などで学修全般にわたるサポートを行っている。

卒業生数、進学者数、就職者数 (直近の年度の状況を記載)			
卒業生数	進学者数	就職者数 (自営業を含む。)	その他
5人 (100%)	0人 (0%)	3人 (60.0%)	2人 (40.0%)
(主な就職、業界等) プレイヤー(事務所所属、フリーランス)、テーマパーク、講師(楽器店、音楽教室、フリー)、音楽・エンタテインメント関連企業、音楽系ショップ等			
(就職指導内容) キャリアカウンセリング、応募書類作成指導、面接練習、メールによる希望分野の求人情報配信、進路/就職ガイダンス、学内企業説明会等			
(主な学修成果(資格・検定等)) 各種オーディション合格、学外演奏活動、知的財産管理技能検定 他			
(備考) (任意記載事項)			

中途退学の現状		
年度当初在学者数	年度の途中における退学者の数	中退率
12 人	2 人	16.7 %
(中途退学の主な理由) 勉学意欲喪失 (1) 心身の問題 (1)		
(中退防止・中退者支援のための取組) 中途退学に繋がる勉学意欲喪失の最初の表れが授業欠席であり、出欠状況を含む学修状況はクラス担任が確認、把握している。クラス担任による年2回の個別学生面談のほか、毎週のクラスタイムやクラス授業等で修学上の不安や悩みごとの相談を受けている。学生の状況により、特に心身に問題を抱える場合は、随時家族保証人とも連絡をとりあい情報共有している。学資の問題については教務課が窓口となり、学費分納や各種奨学金等の相談を受けている。学科や専攻の変更についても、出来る限り本人の希望に沿う方向で柔軟に対応している。退学希望の学生に対しても、退学後の状況についてクラス担任が十分な聞き取りを行い、必要なアドバイスを提供している。退学を希望する理由によっては、復学も選択肢にあることを説明している。		

分野		課程名	学科名	専門士	高度専門士		
文化・教養		音楽専門課程	音楽総合アカデミー学科アレンジ・作曲コース		○		
修業年限	昼夜	全課程の修了に必要な総単位数	開設している授業の種類				
			講義	演習	実習	実験	実技
4年	昼	1年生：124 単位 2年生：3,447 単位時間 3年生：3,447 単位時間 4年生：3,447 単位時間	[1年] 67 単位	[1年] 107 単位	[1年] 23 単位		[1年] 30 単位
			[2年] 1005 単位	[2年] 3210 単位	[2年] 1035 単位		[2年] 312 単位
			[3年] 1005 単位	[3年] 3210 単位	[3年] 1035 単位		[3年] 312 単位
			[3年] 990 単位	[3年] 3990 単位	[3年] 495 単位		[3年] 312 単位
			1年 227 単位 2年 5,562 単位時間 3年 5,562 単位時間 4年 5,772 単位時間				
生徒総定員数		生徒実員	うち留学生数	専任教員数	兼任教員数	総教員数	
120 人(全学科)		29 人	3 人	11 人(全科)	124 人(全科)	135 人(全科)	

<p>(備考) (任意記載事項)</p> <p>「全課程の修了に必要な総単位数」および「開設している授業の種類」について、2025年度以前の入学者分は、学校教育法施行規則等の附則第2条(経過措置)に基づき、単位数を記載している。</p> <p>専任教員11名のうち、4名が管弦打楽器学科、2名がアレンジ・作曲学科、1名がジャズ・ポピュラー学科と兼ねている。</p> <p>2026年5月1日現在の全学科教員総数は専任33名、兼任273名である。</p>
--

カリキュラム (授業方法及び内容、年間の授業計画)
(概要) 様式第2号の3【(3)厳格かつ適正な成績管理の実施及び公表】の1.を参照
成績評価の基準・方法
(概要) 様式第2号の3【(3)厳格かつ適正な成績管理の実施及び公表】の3.を参照
卒業・進級の認定基準
(概要) 様式第2号の3【(3)厳格かつ適正な成績管理の実施及び公表】の4.を参照
学修支援等
(概要) 半期全授業15回のうち、7回目に中間試験、15回目に期末試験、この他、中間試験、期末試験後に実技に関する試験を設定し、内容の理解、修得状況について評価を行い、学生にフィードバックを行っている。年間2回の定期担任面談の他、随時、授業・レッスン担当者や担任、学科長による相談を受け付け、キャリアセンター(就業支援)、国際交流センター(留学生対応)、学務・学生支援部演奏担当(学内外での音楽活動)、学校カウンセラー(匿名相談も可能な学生相談)などで学修全般にわたるサポートを行っている。

卒業生数、進学者数、就職者数 (直近の年度の状況を記載)			
卒業生数	進学者数	就職者数 (自営業を含む。)	その他
3人 (100%)	0人 (0%)	1人 (33.3%)	2人 (66.7%)
(主な就職、業界等) 作曲家・編曲家・プレイヤー(就職、事務所所属、フリーランス)、映像制作関連企業、音楽・エンタテインメント関連企業、音響・照明・舞台制作関連企業、音楽系ショップ、楽器店、音楽教室			
(就職指導内容) キャリアカウンセリング、応募書類作成指導、面接練習、メールによる希望分野の求人情報配信、進路/就職ガイダンス、学内企業説明会等			
(主な学修成果(資格・検定等)) 各種オーディション合格、自主制作活動、知的財産管理技能検定 他			

(備考) (任意記載事項)

中途退学の現状		
年度当初在学者数	年度の途中における退学者の数	中退率
28 人	2 人	7.1 %
(中途退学の主な理由) 心身の問題 (1) 経済的理由 (1)		
(中退防止・中退者支援のための取組) 中途退学に繋がる勉強意欲喪失の最初の表れが授業欠席であり、出欠状況を含む学修状況はクラス担任が確認、把握している。クラス担任による年2回の個別学生面談のほか、毎週のクラスタイムやクラス授業等で修学上の不安や悩みごとの相談を受けている。学生の状況により、特に心身に問題を抱える場合は、随時家族保証人とも連絡をとりあい情報共有している。学資の問題については教務課が窓口となり、学費分納や各種奨学金等の相談を受けている。学科や専攻の変更についても、出来る限り本人の希望に沿う方向で柔軟に対応している。退学希望の学生に対しても、退学後の状況についてクラス担任が十分な聞き取りを行い、必要なアドバイスを提供している。退学を希望する理由によっては、復学も選択肢にあることを説明している。		

②学校単位の情報

a) 「学生納付金」等

学科名	入学金	授業料 (年間)	その他	備考(任意記載事項)
管弦打楽器学科	200,000 円	920,000 円	470,000 円	その他は 教育環境整備費
ジャズ・ポピュラー学科	200,000 円	920,000 円	470,000 円	その他は 教育環境整備費
ヴォーカル学科	200,000 円	870,000 円	370,000 円	その他は 教育環境整備費
プロミュージシャン学科	200,000 円	870,000 円	370,000 円	その他は 教育環境整備費
アレンジ・作曲学科	200,000 円	930,000 円	420,000 円	その他は 教育環境整備費
パフォーマンスアート学科	200,000 円	880,000 円	420,000 円	その他は 教育環境整備費
エンタテインメントスタッフ学科	200,000 円	880,000 円	460,000 円	その他は 教育環境整備費

エンタテインメントHR学科	200,000円	880,000円	480,000円	その他は 教育環境整備費
音楽総合アカデミー学科	200,000円	850,000円	390,000円	その他は 教育環境整備費
修学支援（任意記載事項）				

b) 学校評価

自己点検評価結果の公表方法		
<p>(ホームページアドレス又は刊行物等の名称及び入手方法)</p> <p>前年度評価について毎年4月に学校公式ウェブサイトで公開している。</p> <p>掲載： https://www.shobi.ac.jp/about/info/</p> <p>今年度は「2025年度 自己点検・評価報告書」(PDFファイル)を公開している。</p>		
第三者評価の基本方針（実施方法・体制）		
<p>【第三者評価】</p> <p>第三者評価は本申請時点で未受審であるが、特定非営利活動法人職業教育評価機構が実施する第三者評価を今年度中に受審する予定であり、2026年6月1日付の「令和8年度第三者評価・申込書」を同機構に提出済である。</p> <p>(特定非営利活動法人職業教育評価機構 https://www.hyouka.or.jp/)</p> <p>特定非営利活動法人職業教育評価機構の第三者評価は、同機構が設置する評価部会、第三者評価委員会、審査会、実施委員会により行われる。学内では学校長、事務長、学務・学生支援部長、企画室長等を中心とする受審対応のためのプロジェクトを立ち上げる。特定非営利活動法人職業教育評価機構より提示されているスケジュールは次の通り。第三者評価に供される同機構指定書式の自己評価報告書を2026年7月21日(火)までに提出、その後、評価部会による書面調査、ヒアリング・訪問調査を経て、2027年2月中旬に第三者評価委員会による評価が行われる予定である。審査会による最終評価は2027年3月末日までに完了する予定である。</p>		
<p>【学校関係者評価】</p> <p>本学では、学校関係者評価委員会規程に基づき学校関係者評価を実施している。委員会は本学在校生の保護者、本学卒業生、学校長が必要と認めた者それぞれから選出された委員から構成される。学校教職員は委員会事務局担当者として委員会に出席する。当年度の委員会は、前年度の教育活動及び学校運営の状況について、委員会事務局から提供された前年度分の自己点検・評価報告書の内容を踏まえ、学校関係者評価委員としてのそれぞれの知見から意見を述べ、評価を行い、その結果をとりまとめ学校長に報告する。委員会から報告を受けた学校長は、教育活動ないし学校運営の改善に報告内容を活用すべく、学内各部署に対し具体的改善方策の策定実施を遅滞なく指示している。2026年度の学校関係者評価委員会は「2025年度 自己点検・評価報告書」の内容を踏まえ実施した。</p>		
第三者評価の委員		
所属	任期	種別

元公立中学校長	2026年4月1日～2027年3月31日	本学卒業生
元公立中学校長	2026年4月1日～2027年3月31日	本学卒業生
楽器店レスナー	2026年4月1日～2027年3月31日	本学卒業生
後援会役員	2026年4月1日～2027年3月31日	本学在学学生保証人
後援会役員	2026年4月1日～2027年3月31日	本学在学学生保証人
第三者評価結果の公表方法		
(ホームページアドレス又は刊行物等の名称及び入手方法)		
<p>【第三者評価】 第三者評価結果は、特定非営利活動法人職業教育評価機構の第三者評価審査会より最終評価が提示され次第、学校公式ウェブサイトにて公開予定である。</p> <p>掲載（予定）：https://www.shobi.ac.jp/about/info/</p>		
<p>【学校関係者評価】 評価結果を含む委員会議事録を学校公式ウェブサイトで公開している。</p> <p>掲載：https://www.shobi.ac.jp/about/info/ (2026年度 学校関係者評価委員会議事録 (PDF ファイル))</p>		
(備考)		
<p>「第三者評価の委員」欄には、学校関係者評価の委員について記載している。第三者評価は今年度中に受審予定であるが申請時点で未受審のため、例年通り実施した学校関係者評価の委員について記載した。</p>		

c) 当該学校に係る情報

(ホームページアドレス又は刊行物等の名称及び入手方法)
<p>尚美ミュージックカレッジ専門学校 公式ウェブサイト https://www.shobi.ac.jp/</p> <p>尚美ミュージックカレッジ専門学校 公式ウェブサイト 情報公開ページ https://www.shobi.ac.jp/about/info/</p> <p>学校法人尚美学園 公式ウェブサイト http://www.shobigakuen.ac.jp/</p> <p>学校法人尚美学園 公式ウェブサイト 尚美学園について http://www.shobigakuen.ac.jp/info.html</p>

(別紙)

※ この別紙は、更新確認申請書を提出する場合に提出すること。

※ 以下に掲げる人数を記載すべき全ての欄（合計欄を含む。）について、該当する人数が1人以上10人以下の場合には、当該欄に「-」を記載すること。該当する人数が0人の場合には、「0人」と記載すること。

学校コード (13桁)	H113310500050
学校名 (〇〇大学 等)	尚美ミュージックカレッジ専門学校
設置者名 (学校法人〇〇学園 等)	学校法人 尚美学園

1. 前年度の授業料等減免対象者及び給付奨学生の数

		前半期	後半期	年間
支援対象者数 ※括弧内は多子世帯の学生 (内数) ※家計急変による者を除く。		198 人 (102人)	188 人 (97人)	人 (人)
内 訳	第Ⅰ区分	75 人	62 人	
	(うち多子世帯)	(16人)	(12人)	
	第Ⅱ区分	20 人	28 人	
	(うち多子世帯)	(-人)	(-人)	
	第Ⅲ区分	22 人	18 人	
	(うち多子世帯)	(-人)	(-人)	
	第Ⅳ区分 (理工農)	0 人	人	
	第Ⅳ区分 (多子世帯)	22 人	24 人	
区分外 (多子世帯)	59 人	56 人		
家計急変による 支援対象者 (年間)				0 人 (0人)
合計 (年間)				人 (人)
(備考)				

※ 本表において、多子世帯とは大学等における修学の支援に関する法律（令和元年法律第8号）第4条第2項第1号に掲げる授業料等減免対象者をいい、第Ⅰ区分、第Ⅱ区分、第Ⅲ区分、第Ⅳ区分（理工農）とは、それぞれ大学等における修学の支援に関する法律施行令（令和元年政令第49号）第2条第1項第2号イ～ニに掲げる区分をいう。

※ 備考欄は、特記事項がある場合に記載すること。

2. 前年度に授業料等減免対象者としての認定の取消しを受けた者及び給付奨学生認定の取消しを受けた者の数

(1) 偽りその他不正の手段により授業料等減免又は学資支給金の支給を受けたことにより認定の取消しを受けた者の数

年間	-人
----	----

(2) 適格認定における学業成績の判定の結果、学業成績が廃止の区分に該当したことにより認定の取消しを受けた者の数

	右以外の大学等		
	年間	前半期	後半期
修業年限で卒業又は修了できないことが確定	0人	0人	-人
修得単位数が「廃止」の基準に該当 (単位制によらない専門学校にあっては、履修科目の単位時間数が廃止の基準に該当)	0人	0人	-人
出席率が「廃止」の基準に該当又は学修意欲が著しく低い状況	0人	0人	-人
「警告」の区分に連続して該当 ※「停止」となった場合を除く。	0人	0人	0人
計	0人	0人	-人
(備考) 後半期 修業年限での卒業不可、出席率5割以下および修得単位数5割以下 両条件該当1名			

※備考欄は、特記事項がある場合に記載すること。

上記の(2)のうち、学業成績が著しく不良であると認められる者であって、当該学業成績が著しく不良であることについて災害、傷病その他やむを得ない事由があると認められず、遑って認定の効力を失った者の数

右以外の大学等		短期大学(修業年限が2年のものに限り、認定専攻科を含む。)、高等専門学校(認定専攻科を含む。)&及び専門学校(修業年限が2年以下のものに限る。)			
年間	0人	前半期	0人	後半期	0人

(3) 退学又は停学(期間の定めのないもの又は3月以上の期間のものに限る。)の処分を受けたことにより認定の取消しを受けた者の数

退学	-人
3月以上の停学	0人
年間計	人
(備考)	

※備考欄は、特記事項がある場合に記載すること。

3. 前年度に授業料等減免対象者としての認定の効力の停止を受けた者及び給付奨学生認定の効力の停止を受けた者の数

(1) 停学（3月未満の期間のものに限る。）又は訓告の処分を受けたことにより認定の効力の停止を受けた者の数

3月未満の停学	0人
訓告	0人
年間計	0人
(備考)	

※備考欄は、特記事項がある場合に記載すること。

(2) 適格認定における学業成績の判定の結果、停止を受けた者の数

	右以外の大学等	短期大学（修業年限が2年のもの限り、認定専攻科を含む。）、高等専門学校（認定専攻科を含む。）及び専門学校（修業年限が2年以下のものに限る。）	
	年間	前半期	後半期
GPA等が下位4分の1	0人	0人	0人

4. 適格認定における学業成績の判定の結果、警告を受けた者の数

	右以外の大学等	短期大学（修業年限が2年のもの限り、認定専攻科を含む。）、高等専門学校（認定専攻科を含む。）及び専門学校（修業年限が2年以下のものに限る。）	
	年間	前半期	後半期
修得単位数が「警告」の基準に該当	0人	0人	0人
GPA等が下位4分の1	-人	0人	43人
出席率が「警告」の基準に該当又は学修意欲が低い状況	-人	0人	18人
計	-人	0人	61人
(備考)			

※備考欄は、特記事項がある場合に記載すること。